

市民と議会との語る会実施報告書

日	時	令和7年 11 月 17 日(月) 午後7時 ～ 午後8時30分頃
会	場	中平吹町多目的ホール
出席議員		吉田議員 小形議員 能勢議員 松本議員 安立議員 佐々木議員 城戸議員 大久保議長
参加者(市民)		14名
司会(班長) 議会報告者 全体記録係		司 会 : 佐々木議員 議会報告 : 吉田議員 記 録 : 能勢議員
【1部】 定例会概要報告等 (報告者吉田議員)		Q:発電した電気を学校の施設や災害時に使うことはできるのか。 A:学校施設に使えるが、発電量は小さく、住宅 5～6 軒分しかない。環境学習用の意味合いもある。 Q 新幹線駅の駐車場が全然空いていない。また、100 ヘクタールの開発を、今後どうしていくのか。 A:アンケートでは、90パーセント以上が新幹線利用者であった。村田製作所の研究施設以外に、2 ヘクタールを使い「未来創造基地」、温浴施設の備わったホテルの計画がある。
【2部】 意見交換会 (1班) 進行:城戸議員 記録:能勢議員		Q:物価高対策で、買物券の発行は考えてないのか。 A:過去 2 回の発行は、不況対策で実施したが、あまり効果は無かった。現在、買物券の話は無い。 Q:町内の集会場が第一次避難所だが、第二次避難所(広域)までが遠い。高齢者や小さな子供は歩いていけない。30 分～40 分はかかるため、町内では、町内避難所の備品の充実を考えている。しかし、簡易トイレなどになると資金がない、何か補助金や指針的なものはあるのか。 A:広域避難所に来ないと何も貰えないという事はない。市も個別に対応できる場所はする。しかし、自助からいうと、3 日分くらいの水、食料は持っていないといけない。全ての町内が集会場を持ってるわけではないが、第二次避難所(広域)に行けない弱者の方は必ずいるので、地元にとどまる方のことを想定した避難計画が必要。 Q:市民と語る会で出た意見のフィードバックはどの様に行いのか。 A:この場でお答えができないものは、持ち帰り、担当部局に聞いたり、議員で協議したりして、お答えする。 Q:議会も若い人たちが入ってしやすい環境にすべき。王子保地区に議員がいないため、情報が入ってこない。 A:武生市の頃は 28 人の議員がいて、この王子保にも何人もいた。何をどうす

<p>(2班)</p> <p>進行：小形議員 記録：吉田議員</p>	<p>れば、市民が納得できる議会の形になるのか、私たちもいつも考えている。</p> <p>Q：学校の適正配置は、どうなるのか、</p> <p>A：今年から適正配置の話が持たれる様になった。教育委員会の話では、まず地元の意見を丁寧に聞いて、検討をして決めていきたいとの事。坂口はこれから4年間、新入生がゼロ。服間は全校生徒が4、50人。適正な教育上の論議が保護者からも出ている。一方で、地域コミュニティの継続からも葛藤している意見もある。どちらにしても行政が一方的に決める事は絶対ない。</p> <p>Q：自転車活用推進計画について、サイクルロードの整備をして欲しい。松ヶ鼻園地は、サイクリングの途中の良い休憩地になっている。景観もよく振興会でも草刈りなどの整備をしている。市ももっと活用して欲しい。</p> <p>A：健康増進にも環境にもいいという事で、国が計画したもの。ご指摘の松ヶ鼻園地のことを担当課に伝える。</p> <p>Q：危ない空き家が増えている。</p> <p>A：基本的には個人の所有物には誰も手を出せない。昨年雪で潰れた家屋が2軒あって、危険だったため市が撤去した。うち一軒は所有者が倒産しており、支払い能力がなかったため回収できなかった。</p> <p>(その他要望・意見)</p> <p>・除雪時に、マンホールの蓋をめくってしまう業者がいる。歩道の除雪も遅いし、通学路として安全対策を考えて欲しい。</p>
<p>(3班)</p> <p>進行：安立議員 記録：佐々木議員</p>	<p>Q：市民と議会の語る会について、2年に1回だとお互いに人が変わっていて、話がどうなったのか分からない。</p> <p>A：都度、返答をしてはいるが、大きな問題だと時間はかかる。</p> <p>Q：デマンド交通はあまり知られていない。周知の方法は？</p> <p>A：各地区での説明会を軸に、広報、区長会など。とにかく乗ってご意見をいただきたい。名前もデマンド交通から乗り合いタクシーに変わった。</p> <p>市担当課は、様々な方法により情報発信を試みているが、浸透するには時間がかかる。坂口や白山の乗り合いタクシー制度を皆さんに紹介した。</p> <p>Q：イノシシを今年はもう捕獲しないでといわれたのはなぜか。</p> <p>A：今年の処置費が無くなったって事ではないか。</p> <p>Q：新幹線駅前の村田製作所研究施設に800人の従業員が通勤すると、通勤ラッシュが起きないか。</p> <p>A：従業員の確保が先で、そこまで考えてはいないと思う。</p> <p>Q：学校のエアコン設置の状況は。また、冷却などの方式は。</p> <p>A：現在、予算をつけて設置中である。国の災害の避難所対策の一環である。方式は、ガス方式である。</p>

	<p>Q:耕作放棄地が激増している。その結果、鳥獣による被害も激増しているが、その対策は。</p> <p>A:市も様々な対策を講じているが、駆除することが難しい。クマ対策としてドローンを活用し、所在を確認するシステムも構築している。</p> <p>Q:人口が激減していくが、その対策は。また、外国人の状況は。</p> <p>A:人口減対策として様々な事業を実施しているが、増加に転じているとは思えない面がある。外国人は、増加しており、定住者も増えてきている。</p> <p>Q:集落の人口が激減し、役を受ける人がいなくなり、存続の危機に陥る集落も出てくるのではないか。</p> <p>A:厳しい集落の実態を把握し、集落の維持のための対策が必要だと感じる。</p>
--	---

令和7年 12 月 25 日

越前市議会 議長 様

第1班 班長 佐々木 哲夫